



2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月10日

上場会社名 株式会社コシダカホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2157 URL http://www.koshidakaholdings.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 土井 義人 (TEL) 03-6403-5710
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第1四半期の連結業績(2019年9月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	15,577	5.5	1,073	△21.5	1,177	△25.5	700	△32.1
2019年8月期第1四半期	14,770	6.7	1,368	29.0	1,581	32.5	1,031	67.9

(注) 包括利益 2020年8月期第1四半期 619百万円(△57.2%) 2019年8月期第1四半期 1,448百万円(109.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	8.61	—
2019年8月期第1四半期	12.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	69,866	32,012	45.8
2019年8月期	72,087	31,815	44.1

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 32,012百万円 2019年8月期 31,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2020年8月期	—	—	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は上記記載の予想配当金とは別に、2020年8月期第2四半期末を基準日として当社子会社株式を現物配当すること(以下「本スピンオフ」という。)について2019年11月27日開催の定時株主総会(以下「本定時株主総会」という。)に付議し、当該議案の承認を受けております。上記予想は、本スピンオフが実施されない場合の予想配当となっておりますが、当該現物配当及び本スピンオフが実施された場合の2020年8月期予想配当に関しましては次々ページ【ご参考】をご参照ください。

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日～2020年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,290	8.3	5,204	4.4	5,229	4.7	3,489	19.0	42.91
通期	72,029	9.4	11,054	16.3	11,049	15.5	7,369	18.3	90.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、本スピンオフについて本定時株主総会に付議し、当該議案の承認を受けております。上記予想は、本スピンオフが実施されない場合の予想値となっておりますが、本スピンオフが実施された場合の2020年8月期業績予想につきましては次々ページ【ご参考】をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期1Q	82,300,000株	2019年8月期	82,300,000株
② 期末自己株式数	2020年8月期1Q	767,296株	2019年8月期	981,716株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年8月期1Q	81,371,889株	2019年8月期1Q	81,318,284株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【ご参考】

1. 現物配当（金銭以外の財産による配当）の概要

(1) 基準日	2020年2月29日（土曜日）
(2) 配当財産の種類	株式会社カーブスホールディングス 普通株式
(3) 配当財産の帳簿価額の総額及び1株当たり価額	18,038,187円（1株当たり0円22銭）
(4) 配当財産の時価の総額及び1株当たり価額	－円（1株当たり－円）（注）1
(5) 効力発生日	2020年3月1日（日曜日）
(6) 現物配当により減少する資本の額等	利益剰余金 18,038,187円 配当原資は利益剰余金であり、本スピンオフ時点における、カーブスホールディングス株式の帳簿価額分が減少する予定です。

（注）1. 子会社株式のすべてを株式数に応じて比例的に配当する場合の会計処理については、企業会計基準適用指針第2号「自己株式及び準備金の額の減少等に関する会計基準の適用指針」第10項但書に従い、子会社株式の価額は適正な帳簿価額をもって計算することになり、当社の分配可能額の算出においても同様です。従いまして、配当財産であるカーブスホールディングス株式の時価は算定されておりません。

2. 本スピンオフが実施された場合の配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年8月期	－	6.00	－	6.00	12.00	975	15.7	3.4
2020年8月期 (予想)	－	8.00	－	4.00	12.00		17.8	

3. 本スピンオフが実施された場合の2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）（注）1	35,290	8.3	5,204	4.4	5,229	4.7	3,489	19.0	42.91
通期（注）2	57,209	－	8,084	－	8,125	－	5,482	－	67.41

（注）1. 第2四半期までの当社連結業績予想にはカーブスホールディングスグループも含んでおります。

2. 上記は本スピンオフが実施された場合の当社連結業績予想であり、第3四半期以降の当社連結業績予想にはカーブスホールディングスグループは含んでおりません。また、このため対前期増減率につきましては記載しておりません。

※本スピンオフの詳細につきましては、2019年10月10日付の「子会社株式の現物配当（株式分配型スピンオフ）及び特定子会社の異動に関するお知らせ」（URL：<https://www.koshidakaholdings.co.jp/news/>）等、同日以降に開示した資料等をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、天候不順および2019年10月の消費増税の影響などにより個人消費の持ち直しに時間を要しており、外需も米中貿易摩擦などにより力強さを欠いております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[カラオケ]

駅前・繁華街への集中と店舗の大型化を果たすべく、首都圏を中心に全国で新店開設と既存店の増床増室に取り組みとともに、低採算店の整理も進めております。

人財の大量採用と育成を図るために、採用手段の多様化と海外研修など研修制度の拡充、ならびに福利厚生制度の充実に努めております。

ご好評を頂いております「まふ」(まねきねこフリータイム)や「まねき d e 家族割」などの特定顧客層向け施策は、より利用しやすくなるように随時見直しを施しております。

改正健康増進法の施行に先駆けて、9月より全店全室禁煙化に踏み切りましたが、若年層やファミリー層のお客様に特にご好評を頂いております。

海外では、マレーシアに3店舗開設するなど、東南アジア展開を更に推し進めました。

当第1四半期連結会計期間末のカラオケセグメント国内店舗数は、前連結会計年度末比7店舗増加し532店舗、海外店舗数は24店舗(シンガポール9店舗、韓国8店舗、マレーシア6店舗、タイ1店舗)となりました。国内店舗のリニューアルは23店舗実施いたしました。

この結果、カラオケセグメントの売上高は77億59百万円(前年同期比2.3%増)、セグメント損失は1億74百万円(前年同期比2億40百万円利益額減少)となりました。

[カーブス]

少子高齢化が加速しており、超高齢化による社会問題が顕在化してきております。人生100年時代が到来し、増大する医療費・介護費の抑制のためにも健康寿命延伸に向けた取り組みの重要性が増しております。

このような環境下において、当社グループは「女性だけの30分健康体操教室 カーブス」を通じて正しい運動習慣を広めることによって、高齢者の健康寿命延伸へつなげ、医療費や介護費を抑制するなど、超高齢社会の課題の解決に貢献する「社会課題解決型事業」として、店舗数の拡充及び顧客サービス強化による会員の満足度向上に努めてまいりました。

国内においては、2019年10月に店舗数が2,000店舗を突破したことを記念したキャンペーンを実施し、今まで運動を始められなかった多くの方に対して運動を始めるきっかけ作りをすることができました。また、前期より取り組んで参りました顧客満足度向上による退会率の低減も功を奏し、その結果、当第1四半期連結累計期間における会員増加数は前年同期の会員増加数に比べ24千人増加(前年同期比138.1%増)しております。

これらによって、当第1四半期連結会計期間末の国内カーブス店舗数(メンズ・カーブスを除く)は前連結会計年度末比17店舗増加し(前期末比0.8%増)2,008店舗(内グループ直営店64店舗)に、会員数は42千人増加し864千人(同5.1%増)となりました。

海外においては、2019年7月に買収いたしましたCurves Europe B.V.(カーブス欧州事業)について、成長に向けた基盤づくりに注力しております。

この結果、カーブスセグメントの売上高は73億2百万円(前年同期比8.5%増)、セグメント利益は15億59百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

[温浴]

滞在時間を延ばす居心地の良い空間作りと飲食メニューの一新を図るとともに、設備の省エネ化を更に推し進めることにより、温浴事業の質量両面にわたる経営改善に努めてまいりました。

この結果、温浴セグメントの売上高は3億82百万円(前年同期比1.5%増)、セグメント利益は4百万円(前年同期比27百万円利益額増加)となりました。

[不動産管理]

不動産管理セグメントの売上高は1億33百万円(前年同期比70.9%増)、セグメント損失は89百万円(前年同期比1億18百万円利益額減少)となりました。

以上により、当社グループ(当社及び連結子会社)の当第1四半期連結累計期間の売上高は155億77百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益10億73百万円(同21.5%減)、経常利益11億77百万円(同25.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億円(同32.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ22億21百万円減少し698億66百万円(前連結会計年度末比3.1%減)となりました。

(流動資産)

流動資産は31億96百万円減少し175億65百万円(同比15.4%減)となりました。これは主に、現金及び預金が36億54百万円減少したことなどによるものです。

(固定資産)

有形固定資産は8億40百万円増加し230億33百万円(同比3.8%増)となりました。これは主に、建物及び構築物が7億20百万円および車両運搬具及び工具器具備品が1億99百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は2億85百万円減少し222億50百万円(同比1.3%減)となりました。これは主に、商標権が2億30百万円およびのれんが63百万円減少したことなどによるものです。

投資その他の資産は4億20百万円増加し70億16百万円(同比6.4%増)となりました。これは主に、敷金及び保証金が3億円および投資有価証券が54百万円増加する一方で、貸倒引当金が74百万円減少したことなどによるものです。

固定資産の総額は9億75百万円増加し523億円(同比1.9%増)となりました。

(流動負債)

流動負債は15億89百万円減少し134億33百万円(同比10.6%減)となりました。これは主に、未払法人税等が12億94百万円減少したことなどによるものです。

(固定負債)

固定負債は8億28百万円減少し244億20百万円(同比3.3%減)となりました。これは主に、長期借入金が8億93百万円減少したことなどによるものです。

負債の総額は24億18百万円減少し378億54百万円(同比6.0%減)となりました。

(純資産)

純資産は1億97百万円増加し320億12百万円(同比0.6%増)となりました。これは主に、利益剰余金が2億12百万円増加した一方で、為替換算調整勘定が85百万円および自己株式が65百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,582,028	8,927,263
受取手形及び売掛金	3,870,289	4,201,675
商品	915,186	1,054,725
原材料及び貯蔵品	196,689	213,555
その他	3,233,954	3,216,155
貸倒引当金	△35,701	△47,702
流動資産合計	20,762,447	17,565,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,819,123	16,539,942
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	3,458,837	3,657,885
土地	2,815,162	2,815,162
リース資産（純額）	20,314	18,909
建設仮勘定	79,280	1,613
有形固定資産合計	22,192,717	23,033,513
無形固定資産		
のれん	1,611,996	1,548,782
商標権	19,020,017	18,789,050
ソフトウェア	855,811	919,146
その他	1,048,297	993,803
無形固定資産合計	22,536,122	22,250,781
投資その他の資産		
投資有価証券	816,900	871,589
関係会社株式	50,329	49,425
長期貸付金	628,150	677,973
長期前払費用	31,115	26,247
敷金及び保証金	3,958,898	4,258,998
繰延税金資産	1,109,984	1,058,819
その他	176,689	174,736
貸倒引当金	△175,965	△101,376
投資その他の資産合計	6,596,103	7,016,414
固定資産合計	51,324,943	52,300,709
資産合計	72,087,391	69,866,382

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,476,545	2,244,873
1年内返済予定の長期借入金	4,146,163	3,941,996
リース債務	6,957	2,959
未払金	1,858,567	2,332,881
未払費用	1,431,285	1,387,166
未払法人税等	1,715,689	421,538
賞与引当金	406,421	192,081
預り金	1,893,317	2,120,697
その他	1,088,143	789,632
流動負債合計	15,023,091	13,433,826
固定負債		
長期借入金	18,097,681	17,203,849
繰延税金負債	4,329,366	4,301,779
資産除去債務	2,427,259	2,573,418
その他	394,912	341,206
固定負債合計	25,249,219	24,420,252
負債合計	40,272,310	37,854,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,070,257	2,070,257
資本剰余金	3,302,786	3,302,786
利益剰余金	26,447,399	26,660,319
自己株式	△301,538	△235,690
株主資本合計	31,518,904	31,797,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,656	45,184
為替換算調整勘定	254,520	169,445
その他の包括利益累計額合計	296,176	214,629
純資産合計	31,815,081	32,012,302
負債純資産合計	72,087,391	69,866,382

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
売上高	14,770,005	15,577,884
売上原価	10,850,781	11,856,410
売上総利益	3,919,224	3,721,473
販売費及び一般管理費	2,551,208	2,647,624
営業利益	1,368,015	1,073,849
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,045	2,979
為替差益	203,223	17,391
店舗移転補償金	—	90,000
その他	36,093	26,182
営業外収益合計	242,361	136,552
営業外費用		
支払利息	18,651	16,798
その他	10,697	16,098
営業外費用合計	29,349	32,897
経常利益	1,581,027	1,177,505
特別利益		
固定資産売却益	3,024	—
投資有価証券売却益	—	592
特別利益合計	3,024	592
特別損失		
固定資産除却損	4,889	6,531
特別損失合計	4,889	6,531
税金等調整前四半期純利益	1,579,162	1,171,566
法人税、住民税及び事業税	473,198	518,029
法人税等調整額	△43,922	△47,292
法人税等合計	429,275	470,736
四半期純利益	1,149,886	700,829
非支配株主に帰属する四半期純利益	118,279	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,031,607	700,829

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	1,149,886	700,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	954	3,528
為替換算調整勘定	297,220	△85,075
その他の包括利益合計	298,175	△81,546
四半期包括利益	1,448,061	619,282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,329,782	619,282
非支配株主に係る四半期包括利益	118,279	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理			
売上高							
外部顧客への売上高	7,581,300	6,733,590	377,123	77,990	14,770,005	—	14,770,005
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,581,300	6,733,590	377,123	77,990	14,770,005	—	14,770,005
セグメント利益又は損失(△)	66,192	1,501,823	△22,758	29,171	1,574,429	△206,414	1,368,015

(注) 1. セグメント利益の調整額△206,414千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理			
売上高							
外部顧客への売上高	7,759,237	7,302,650	382,734	133,262	15,577,884	—	15,577,884
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,759,237	7,302,650	382,734	133,262	15,577,884	—	15,577,884
セグメント利益又は損失(△)	△174,580	1,559,858	4,386	△89,619	1,300,044	△226,194	1,073,849

(注) 1. セグメント利益の調整額△226,194千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。